

第6回 交通ソフトインフラ海外展開支援協議会（JAST）

令和7年度予算事業の概要と 令和8年度予算事業の予定について

令和8年3月12日

国土交通省大臣官房参事官（交通プロジェクト）

川崎 俊正

令和7年度実施事業（詳細は各受託者から発表）

令和7年度は実証事業2件、調査事業1件を実施。

（実証事業A）

令和7年度オンデマンド交通に係る本邦技術の活用検討業務

【受託者】 WILLER株式会社

【概要】 オンデマンド交通に係る本邦技術の海外展開を目的として、海外向けユースケースの作成や社会実装に向けた現地協議を実施した。

調査対象国としてインドネシアを選定し、実証地域をジャカルタ首都圏のスマートシティ地域として、課題解決のための取組、外国企業による参入状況及び成功事例、関連法制度を調査するとともに、オンデマンド交通の実証及び事業化に向けての調査を実施。

（実証事業B）

令和7年度交通ビッグデータに係る本邦技術の活用検討業務

【受託者】 LocationMind株式会社・株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

【概要】 ビッグデータに係る本邦技術の海外展開を目的として、インドネシア・ジャカルタにおける現地パートナーと共にケーススタディ調査を推進し、ニーズの高いユースケースの作成やビジネスモデルの検討、社会実装に向けた現地協議を実施した。

位置情報ビッグデータ解析とAI技術を活用したデジタルソリューション「スマート・モビリティ・プランニングツール (SMPT)」のASEAN各国への事業展開に向けての調査を実施。

（調査事業）

インドにおける交通ソフトインフラの課題把握および本邦企業進出促進調査

【受託者】 合同会社デロイトトーマツ

【概要】 本邦企業がインド市場に参入を検討するための課題を把握することを目的として、インド4都市にて交通ソフトインフラの現状を調査した。各都市でメトロ等のインフラ整備が進み、ラストワンマイル輸送や都市交通データの統合・活用ニーズも高まっている中、本邦企業の参入可能性および留意点の整理を実施。

令和8年度は、**実証事業1件**、**調査事業1件**の公募を予定。

実証事業については、全地域を対象とし、企画提案された事業を、実証事業の実現可能性、今後の事業化可能性等を踏まえて総合的に判断し、採択を行う予定。

調査事業については、フィリピンにおける法制度や計画に関するデスクトップ調査を実施する。また、海外における他国企業の進出事例や先進的事例の調査を行う。調査結果を踏まえた勉強会の開催も検討する。

○**実証事業**

件名	採択 件数
本邦企業の海外展開に向けた交通分野におけるデジタル技術の活用検討業務	1件

○**調査事業**

件名	採択 件数
海外における交通ソフトインフラの課題把握および本邦企業進出促進調査	1件

- 4月～6月頃
実証事業及び調査事業の公募・採択

- 10月～11月頃
第7回JAST会合
 - ・ 中間報告
 - ・ 調査事業の結果を踏まえた勉強会

- 3月頃
第8回JAST会合
 - ・ 実証事業及び調査事業の結果報告